

現行区域マスタープラン（平成 26 年 12 月）

改定案（令和 2 年 11 月）

第 1 改定の基本的な考え方

1 基本的事項

- 目標年次：おおむね 10 年（2025 年（平成 37 年））

2 基本理念及び基本戦略

(1) 基本理念

都市づくりビジョン（改定）で掲げた「世界の範となる魅力にぎわいを備えた環境先進都市東京の創造」を基本理念とする。

(2) 基本戦略

都市づくりビジョン（改定）で示した 7 つの基本戦略を基に、人口減少・子高齢社会の到来、首都直下地震の切迫性、都市間競争の激化、地球球環境問題深刻など社会経済情勢の変を踏まえ、都市計画区域マスタープランでは以下を基本戦略とする。踏まえ、都市計画区域マスタープランでは以下を基本戦略とする。

- 国際競争力及び都市活力の強化
- 広域交通インフラの強化
- 安全・安心な都市の形成
- 暮らしやすい生活圏の形成
- 都市の低炭素化
- 水と緑の豊かな潤いの創出
- 美しい都市空間の創出

1 基本的事項

- 目標年次：おおむね 20 年後（2040 年代）
（区域区分及び主要な施設などの整備目標はおおむね 10 年後（2030 年（令和 12 年））

2 コロナ危機を踏まえた未来の東京（都市づくりの目標と戦略）

(1) 都市づくりの目標

- 東京が高度に成熟した都市として、AI や IoT などの最先端技術も活用しながらゼロエミッション東京を目指し、地球環境と調和を図り、持続的に発展していくことを理念とする。
- 東京のブランド力を高め、世界中から選択される都市を目指す。加えて、「ESG」や「SDGs」の概念を取り入れて都市づくりを進め、持続的な成長を確かなものとする。
- あらゆる人が活躍・挑戦でき、多様なライフスタイルに柔軟に対応できることが重要。個々人から見れば、特色のある様々な地域で、多様な住まい方、働き方、憩い方を選択できる都市を目指す。
- みどりを守り、まちを守り、人を守るとともに、東京ならではの価値を高め、持続可能な都市・東京を実現
- 2040 年代に向けて東京の都市づくりを進め、「成長」と「成熟」が両立した未来の東京を実現

(2) 都市づくりの戦略

- 「未来の東京」戦略ビジョンや都市づくりのグランドデザインで示す都市像や将来像を実現するため、分野を横断する 8 つの戦略を設定し、先進的な取組を進めていく。
- 持続的な成長を生み、活力にあふれる拠点を形成
- 人・モノ・情報の自由自在な交流を実現
- 災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築
- あらゆる人々の暮らしの場の提供
- 利便性の高い生活の実現と多様なコミュニティの創出
誰もが集い、支え合う居場所・コミュニティが至る所に存在するなど、包摂的社会形成にも留意したまちづくりを推進
- 四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築
- 芸術・文化・スポーツによる新たな魅力を創出
- デジタル技術を活かした都市づくりの推進
デジタルトランスフォーメーションで「スマート東京」を実現
リアルとバーチャルをハイブリッド化し、都市空間における体験や活動をより豊かに効果的に

(3) 新型コロナ危機を契機とした都市づくりの方向性

- 都市の持つ集積のメリットは生かし、三密を回避し、新しい日常にも対応する、サステナブル・リカバリーな都市づくりを

	<p>推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナ危機を契機として生じた変化にも対応 ○国際競争力を高め、東京が持続的に発展していけるよう、区部中心部などにおいて活力あふれる拠点を形成 ○特色のある個性を有する様々な地域で、多様な住まい方・働き方・憩い方を選択できる都市づくりを推進 ○都心部では感染症にも配慮したゆとりあるスペース等を備えた優良なオフィスへの機能更新の充実等を推進 ○中小オフィスビルのストックを活用したリノベーションやニーズに応じた用途転換等を推進 ○長期的観点から東京全体の市街地の再構築を進め、効率性と快適性も兼ね備えた持続可能な都市へとつくり変えていく
<h2>第 2 東京が目指すべき将来像</h2>	
<p>1 東京の都市構造</p> <p>(1) 環状メガロポリス構造の実現</p> <p>広域的には、東京圏全体の視点に立った都市構造として「環状メガロポリス構造」を実現 ⇒圏域全体の一体的な都市機能を発揮し、国際競争力を備えた魅力ある首都を実現</p> <p>(2) 集約型地域構造への再編</p> <p>身近な圏域では、交通結節点などを中心に、市街地を集約型の地域構造へ再編 ⇒快適な都市生活と機能的な都市活動を確保し、誰もが暮らしやすいまちを実現 ⇒地域特性に応じた拠点（中核拠点、生活拠点、生活中心地）を育成</p>	<p>1 世界から選択される都市の実現に向けて（東京の都市構造）</p> <p>(1) 広域的なレベルの都市構造</p> <p>広域的には概成する環状メガロポリス構造をさらに進化させ、「交流・連携・挑戦の都市構造」を実現 ⇒人・モノ・情報の自由自在な移動と交流を確保し、イノベーションの源泉となる「挑戦の場」を創出</p> <p>(2) 地域的なレベルの都市構造</p> <p>身近な地域では、概ね環状 7 号線の外側の地域において、集約型の地域構造へ再編 ⇒地域特性に応じた拠点（中核的な拠点、活力と賑わいの拠点、枢要な地域の拠点、地域の拠点、生活の中心地）を育成</p> <p>(3) 拠点ネットワークとみどりの充実</p> <p>＜拠点ネットワークの充実強化＞ ⇒拠点の位置付けを再編するとともに、地域の個性やポテンシャルを最大限に発揮し、各地域が競いあいながら新たな価値を創造していくなど、地域の特性に応じた拠点等の育成を適切に進めていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ①中核的な拠点 ②活力と賑わいの拠点 ③地域の拠点 ④生活の中心地

中核拠点 ※1	都心	大手町、丸の内、有楽町、内幸町、霞が関、永田町、 日本橋、八重洲、京橋、銀座、新橋
	副都心	新宿、渋谷、池袋、大崎、上野・浅草、錦糸町・亀戸、 臨海副都心
	新拠点	品川、秋葉原、羽田
	核都市	八王子、立川、多摩ニュータウン、青梅、町田
生活拠点 ※2	大井町、武蔵小山、自由が丘、蒲田、大森、三軒茶屋、 下北沢、笹塚、中野、荻窪、高円寺、王子、赤羽、成増、 大山、練馬、大泉学園、綾瀬、竹ノ塚、新小岩、金町、小岩、・西、 八王子みなみ野、吉祥寺、三鷹、武蔵境、府中、調布、鶴川、武蔵小 金井、高幡不動、豊田、日野、国分寺、清瀬、 国立、田無、ひばりヶ丘、聖蹟桜ヶ丘 など	
	池上、大岡山、千歳烏山、成城学園、南阿佐ヶ谷、高島平、 光が丘、上石神井、西新井、江北、高砂、一之江、瑞江、 北野、高尾、玉川上水、本町・榎地区、三鷹台、分倍河原、 つつじヶ丘、狛江、昭島、拝島、成瀬、東小金井、 花小金井、西国分寺、東村山、秋津・新秋津、東久留米、 保谷、福生、羽村、小作、箱根ヶ崎、永山、稲城長沼、 稲城、秋川、武蔵五日市、谷戸地区・塩田地区 など	

※1 交通利便性などをいかした業務・ビジネス、商業、文化、飲食サービスなど高度な機能集積により、東京圏の都市活力や都市文化をリードする拠点

※2 交通結節点などにおける商業、福祉、文化、教育などの生活機能などの集積により、幅広いサービスを提供できる広域的な中心性を備えた拠点

※3 特徴ある商店街やコミュニティインフラ（道路、公園、集会施設、子育て支援施設、高齢者介護施設、教育文化施設など）の整った、身近な地域における人々の活動や交流の中心地

<中枢広域拠点域内>

中核的な拠点	大手町、丸の内、有楽町、日比谷、内幸町、永田町、霞が関、 日本橋、八重洲、京橋、銀座、新橋、新宿、渋谷、池袋、 大崎・五反田、上野・浅草、錦糸町・亀戸、有明、台場、 青海、品川、秋葉原、羽田、六本木・虎ノ門
活力とにぎわいの拠点	四ツ谷、市ヶ谷、神田、九段下・神保町、御茶ノ水、飯田橋、 茅場町・八丁堀、人形町、築地、月島、勝どき、晴海、 田町・三田、浜松町・竹芝、青山一丁目、表参道、高田馬場、 大久保・新大久保、水道橋・春日・後楽園、浅草橋、両国、 押上、森下・清澄白河、住吉、門前仲町、東陽町、新木場、 豊洲、大井町、武蔵小山、目黒、中目黒、大森、下北沢、三 軒茶屋、恵比寿、原宿・明治神宮前、代々木、笹塚、中野、 中野坂上、東中野、大塚、巣鴨、駒込、板橋、田端、王子、 十条・東十条、日暮里・西日暮里、南千住、町屋、大山、北 千住、綾瀬、新小岩、立石、亀有、葛西、西葛西、船堀

※中枢広域拠点域：おおむね環状第7号線の内側の区域

<厚みとつながりのあるみどりの充実>

⇒厚みとつながりのあるみどりの充実とともに、都内全域でみどりの量的な底上げと質の向上を推進

2 ソーンごとの将来像

「都市づくりビジョン」で示したゾーン区分に従い、各ゾーンの特性・将来像を記述

- ・ 特色ある地域について、それぞれ将来像を詳細に記述

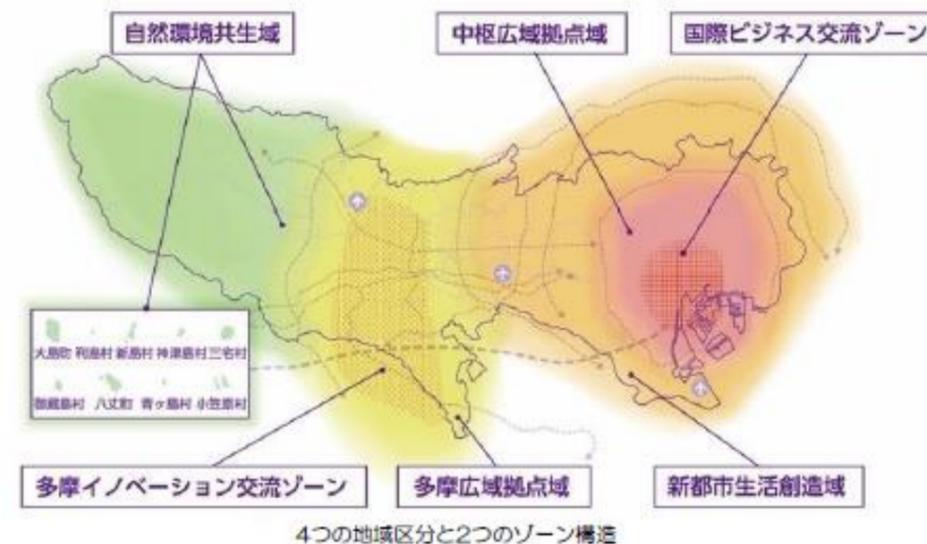


(1) センターコア再生ゾーンの将来像

2 地域区分ごとの将来像

「都市づくりのグランドデザイン」の4つの地域区分・2つのゾーンに基づき、誘導の方向・将来像を記述

- 国際金融都市 を目指す観点から、国際競争力の高い産業に従事するクリエイティブ人材の受入環境の充実や インバウンド への対応等に引き続き取り組む
- シェアオフィスやサテライトオフィス等の整備やニーズに応じた柔軟な用途転用など推進。職住融合拠点を育成人が輝く東京の個性ある地域づくり
- ・ 特色ある地域について、それぞれ将来像を詳細に記述



(1) 中核交流拠点域の誘導の方向・将来像

○国際・交流ビジネスゾーンの誘導の方向・将来像

<誘導の方向>

なお、新型コロナ危機を契機とした都市づくりの観点から、新たなビジネスやイノベーションの創出にも資する、感染症にも配慮したゆとりある共用スペース等を備えた高機能で高質な交流が行われる優良なオフィスへの機能更新を推進。

また、中小オフィスビルのストックも活用したリノベーションやニーズに応じた柔軟な用途転用、中央環状線内側等の交通結節性の高い駅周辺における多機能を融合した駅まち一体のまちづくり等を進め、高質な職住等が融合した空間へさらに、新型コロナ危機後を見据え、国際金融都市を目指す観点から、付加価値を生み出す国際競争力の高い産業に従事するクリエイティブ人材の受入環境の充実やインバウンドへの対応等、引き続き取り組んでいく。

第3 東京の都市づくりの枠組み (区域区分の有無及び区域区分を定める際の方針) —変更なし—

第4 主要な都市計画の決定の方針

1 土地利用に関する都市計画の決定方針

- 都市再生特別地区などを活用し、ハード・ソフトが一体となった国際競争力の強化に繋がる都市再生を推進 (先進的なビジネス支援機能の導入、外国人も暮らしやすい居住環境の充実、自立・分散型エネルギーシステムの導入など)

1 多様な住まい方・働き方を支える都市づくり (土地利用に関する都市計画の決定方針)

- 東京が高度に成熟した都市として、ゆとりある公共空間の創出など推進するとともに、AI や ICT など 先端技術も活用しながらリモートワークを始め、多様な働き方・暮らし方にも柔軟に対応した都市づくりを推進
- 国際ビジネス交流ゾーンでは、国際水準の住宅やサービスアパートメント、外国語対応の医療、教育、子育て 施設な

○都市計画制度などを活用し、高経年マンションの建替えなどを促進

2 都市施設の整備に関する都市計画の決定方針

○都市計画道路網の早期完成に向け、都市計画道路の整備方針に基づき、更に今後の方針改定の考え方も踏まえつつ、計画的・効率的に整備を推進。また、都県境を越えた広域的な道路ネットワークを充実させるため、都県間の調整を図り、道路橋梁などの整備を推進

○下水道管や主要施設の老朽化対策と併せて、雨水排除能力の増強や耐震性の向上などを効率的に図る再構築を推進

3 市街地開発事業に関する都市計画の決定方針

4 都市防災に関する都市計画の決定の方針

○地震、津波、水害などの自然災害に対する防災対応力を高め、安全な都市を形成し、大規模地震などの発生時においても、首都としての都市機能や経済活動を維持

○特定都市再生緊急整備地域などにおける都市開発において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を促進し、災害時にも事業継続できる高度な防災性を備えた市街地の形成を誘導

どの整備を誘導

- 都市開発諸制度等を活用し、育成用途を適切に設定し地域にふさわしい用途多様な機能集積を誘導する
- 開放的で緑豊かな身近なオープンスペースを更に創出し、にぎわいある魅力的な空間形成を一層促進
- 都心の利便性を生かした様々な居住ニーズを踏まえながら、高齢化や国際化等に的確に対応するため、これまでの量的拡大から質の向上へ住宅施策を転換
- 地域の特性に応じ、車中心から人中心の空間へ転換。居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を促進

2 ゆとりある回遊性を支える都市施設（都市施設の整備に関する都市計画の決定方針）

高度に成熟した都市として、東京の活動を支える交通基盤の整備、ゆとりある公共空間の創出などを推進。また、AI、ICT、ビックデータや次世代モビリティシステムなどの先端技術やMaaS等の交通サービスも生かしながら、移動の円滑化や混雑の緩和などの取組を推進し、誰もが移動しやすい交通環境の充実を図る。

○TOKYO Data Highwayの実現に資する高速通信網構築も視野に入れた無電柱化の推進や、自転車や歩行者の快適な通行空間を確保

○鉄道の混雑緩和等による快適通勤の実現に向け、働き方改革と連携したオフピーク通勤促進の取組を推進

○鉄道利用の変化を踏まえた持続可能な輸送サービス確保や、先端技術も活用した輸送力強化等を推進

○自転車走行空間の整備により更なる自転車ネットワーク化を推進。駐輪場整備などにより利用環境を充実

○対策強化流域においては、河道等や調節池の整備により、区部では時75ミリ、一般の流域においては60ミリの降雨に対し、河川からの溢水を防止

3 人が集まり、交流する、魅力と活力溢れる拠点形成（市街地開発事業に関する都市計画の決定方針）

高度に成熟した都市として、ゆとりある公共空間の創出などを推進。3D都市モデルの活用などにより、都市空間の可視化や、開発行為の影響についてシミュレーションを行う等、AIやICTなど先端技術も活用しながら快適で利便性の高い拠点などの整備を図る。

4 激甚災害にも負けない東京（災害に係る都市計画の決定方針）

高度に成熟した都市として、ゆとりある公共空間の創出などを推進。データの見える化・活用やデジタルツインの下での、高度なシミュレーションの実施等により災害対策や事前復興の充実を図るなど、AIやICTなど先端技術も活用しながら激甚化する災害にも対応した強靱な都市の形成を一層促進する。

○都市開発諸制度等を活用した開発や土地区画整理事業などのまちづくりの機会を捉え、無電柱化を推進

○乗降客の多い駅の周辺において、国や区、民間事業者などと連携し、帰宅困難者等の安全確保に向けた計画の作成を進め、避難に関するルール作成や防災備蓄倉庫の設置などを誘導。

○災害時にも事業継続できるよう都市開発に併せ、自立分散型の発電施設やコージェネレーションシステムの導入やネットワーク化によるエネルギー相互融通を可能にし、地域全体でのエネルギーの自立化・多重化促進

○被災時の都市復興においても、「都市づくりのグランドデザイン」で示した都市像や都市計画区域マスタープランの実現に取り組んでいく

5 都市の低炭素化に関する都市計画の決定の方針

- 中核拠点や生活拠点などでは、民間都市開発を通じて、最先端の省エネ技術の導入や、地域冷暖房施設などの導入・接続を促進
- 歩行者、自転車、自動車が安全で快適に行き交うことができる道路空間を確保し、自転車利用を促進
- 渋滞対策の推進により、都市全体での CO2 排出量を削減

6 自然的環境の整備又は保全に関する都市計画の決定の方針

- 特別緑地保全地区や都市計画緑地などの制度を活用し緑を保全
- センター・コア再生ゾーン内の都市計画公園・緑地の未供用区域において、民間都市開発と連携して緑地を創出

7 都市景観に係る都市計画に関する方針

- 都市再生の推進を通じて、風格、潤い、にぎわいのある街並み景観を誘導

5 緑と水の潤いある都市の構築（環境に係る都市計画の決定方針）

- 都市再生特別地区や都市開発諸制度などを活用した複合開発により、最先端の省エネ技術、未利用エネルギー、再生可能エネルギー など 太陽光や水素エネルギー等 の積極的な導入を促進
- エネルギー性能評価に重点を置き、「東京都建築物環境計画書制度」にゼロ・エネルギー・ビル（ ZEB ）等、ゼロエミッションの考え方を取り入れ、活用することなどにより、省エネルギービルの普及を促進。
- 歩行者、自転車、自動車が安全で快適に行き交うことができる道路空間を確保し、環境負荷の少ない交通手段として見直されている自転車や、環境性能が高い電気自動車などゼロエミッションビークルの利用を促進。
- 広域的に連続しみどりの骨格を形成する崖線や河川、用水沿いなどにおいて、地域の状況やニーズに応じて みどりの連続性を確保する公園・緑地を配置
- 区部中心部では、都市公園と民間の緑化空間を民間活力による質の高い一体的な管理を促進し、みどり豊かなビジネス環境を創出し、国内外から投資やインバウンドを呼び込み、国際競争力の一層の強化を図る

6 四季折々の美しい景観形成（都市景観に係る都市計画に関する方針）

- 高度に成熟した都市として、ゆとりある公共空間の創出などを推進するとともに、開発に際し、3D都市モデルの活用による景観シミュレーションを行う等 ICT など先端技術も活用し、周辺環境と調和の取れた景観を形成
- 開発の機会等を捉え、歴史的建造物や江戸文化などの保全を図るとともに、質の高い建築デザインを誘導
- 神田川景観基本軸」の区域においては、歴史性、文化性、界わい性等を生かすとともに、水と緑の一体感が連続して感じられる河川景観の形成を図る。
- 中核的な拠点や活力とにぎわいの拠点、地域の拠点など、多くの人々が利用し、まちの顔となる道路において無電柱化を加速し、良好な景観形成や回遊性の向上、バリアフリー化を促進。
- 夜間の景観は、土地利用の特性に応じた照明により、都市全体の夜間景観にメリハリを付け、ダイナミックな都市構造を光で表現

特色ある地域の将来像

【大手町・丸の内・有楽町】

- 外国企業を含む本社機能など高次の業務機能や国際交流、カンファレンス機能などが集積し、豊かな緑と美しい眺望景観を備えた、ゆとりと風格のある国際的なビジネス拠点を形成
- 帰宅困難者の一時待機施設の確保、情報通信基盤や耐震性の強化、エネルギー確保の多様化などが進み、大規模災害時でも事業継続できる防災機能やインフラ機能が強化された高度防災都市を形成

人が輝く東京の個性ある地域づくり（特色ある地域の将来像）

【大手町・丸の内・有楽町】

- 高度なオフィスビルや外国企業を含む本社機能などの高次の業務機能、国際交流やカンファレンス機能を有する MICE、宿泊施設など、国際的なビジネス・交流機能が集積し、豊かなみどりと美しい眺望景観を備えた、ゆとりと風格のある中核的な拠点を形成
- 建築物と都市インフラの耐震化や帰宅困難者の一時待機施設の確保、エネルギー確保の多様化、地下空間の浸水対策などが進み、大規模災害時でも事業継続できる防災機能や都市インフラが強化された高度防災都市を形成
- 都市再生特別地区や都市開発諸制度などにより、資産運用やフィンテックに代表される金融などの国際ビジネス・交流機能が高度に集積し、イノベーションが生まれ続ける拠点の形成や広域交通結節機能と日本橋川の水辺環境等の観光資源を生かした国際的な商業・観光エリアを形成
- ゆとりのある充実した歩行者空間の形成、日本橋や神田などの周辺地区との連携、エリアマネジメントによる地域の魅

<p>(大手町)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際金融拠点機能や、情報通信・メディア機能の融合及び通信基盤をいかした、新産業創造・国際ビジネスハブを形成 東京駅日本橋口前では、基幹的なインフラ施設の更新に併せ高次の業務機能の集積が図られるとともに、東京駅と周辺とのアクセス性が高められ、高度な防災機能を有する広場的空間を備えた象徴的な拠点を形成 神田方面へとつながる仲通りの延伸や、日本橋川に沿った公園・緑道空間などの整備による、憩いとにぎわいのある空間を創出 <p>(丸の内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 創建当時の姿に復原された東京駅丸の内駅舎と、都市の広場や行幸通り及び周辺街区において統一感のとれるよう整備された建築物により、首都のランドマークにふさわしい歴史と風格ある街並みを形成 丸の内仲通りなどでは、地域の魅力や価値向上を図るため、エリアマネジメントにより質の高い公共空間を管理するとともに、公民協働による安全性・利便性・快適性に配慮した街路環境と、商業、文化などの多様な機能が集積した、快適でにぎわいのある豊か恋都心の交流空間を形成 <p>(有楽町)</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅周辺の市街地の機能更新が進み、業務、商業、文化・交流、MICE など多様な機能が集積したにぎわいと回遊性のある国際色豊かな拠点を形成 	<p>力向上の取組などにより、回遊性が高く、にぎわいや交流を生み出す地域を形成</p> <p>(大手町)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際金融の拠点機能や、情報通信・メディア機能の融合及び通信基盤を生かした、新産業を創造し、国際ビジネスのハブとなる中核的な拠点を形成 東京駅日本橋口前では、基幹的なインフラ施設の更新に併せ高次の業務機能の集積が図られるとともに、東京駅と周辺とのアクセス性が高められ、高度な防災機能を有する広場的空間を備えた象徴的な拠点を形成 神田方面へとつながる仲通りの延伸や、日本橋川に沿った公園・緑道空間などの整備により、みどり豊かな憩いとにぎわいのある空間を創出 <p>(丸の内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 創建当時の姿に復原された東京駅丸の内駅舎と広場や行幸通り及び周辺街区において統一感のとれるよう整備された建築物により、首都のランドマークにふさわしい歴史と風格ある街並みを有する中核的な拠点を形成 丸の内仲通りなどでは、地域の魅力や価値向上を図るため、エリアマネジメントにより質の高い公共空間を地域自ら維持管理するとともに、公民協働による安全性・利便性・快適性に配慮した街路環境と、商業、文化などの多様な機能が集積した、快適でみどり豊かなにぎわいのある区部中心部の交流空間を形成 <p>(有楽町)</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅周辺の市街地の機能更新が進み、業務、商業、観光、文化・交流、MICE など多様な機能が集積したにぎわいと回遊性のある国際色豊かな中核的な拠点を形成 東京高速道路（KK線）は、自動車専用の道路としての役割から、新たな公共的空間へ転換し、緑豊かな歩行者中心の空間（空中回廊）として再生
<p>(霞が関・永田町)</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の政治・行政の中心としての機能を発揮するとともに、国会議事堂、法務省旧本館などの歴史的建造物と調和した重厚で風格ある首都にふさわしい街並みを形成 	<p>(霞が関・永田町)</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の政治・行政の中心としての中核機能が高度に集積するとともに、皇居、日比谷公園や、国会議事堂、法務省旧本館などの歴史的建造物とが調和した、重厚で風格のある中核的な拠点を形成
<p>(日比谷)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本初の洋風近代公園である日比谷公園や、劇場、映画館などの既存の文化・交流機能などをいかし、計画的・段階的に市街地が更新され、中枢業務機能と商業・文化・交流機能とが複合した、歴史と文化の香る回遊性のあるビジネス拠点を形成 駅周辺では、回遊性を向上させる快適な歩行者ネットワークの強化、日比谷公園と連続する憩いやにぎわいの核となる広場空間の創出、地域主体のエリアマネジメントによる質の高い管理、文化・交流機能の集積をはじめとした多様な機能の導入などにより、エンターテインメント性豊かな魅力ある都市空間を形成 	<p>(日比谷・内幸町)</p> <ul style="list-style-type: none"> オフィスビル、商業施設、劇場や映画館などの施設を生かした、国際的な芸術・文化、宿泊、エンターテインメント機能などが高度に集積し、にぎわいや交流の生まれる中核的な拠点を形成 日本初の洋風近代公園である日比谷公園や、劇場、映画館などの既存の文化・交流機能などを生かし、計画的・段階的に市街地が更新され、中枢業務機能と商業・文化・交流機能とが複合した、歴史と文化が香り、回遊性と風格のあるビジネス拠点を形成 駅周辺では、回遊性を向上させる快適な歩行者ネットワークの強化、日比谷公園と連続する憩いやにぎわいの核となる広場空間の創出、地域主体のエリアマネジメントによる質の高い管理、文化・交流機能の集積をはじめとした多様な機能の導入などにより、エンターテインメント性豊かな魅力ある都市空間を形成 安全、快適かつ自由に多様な人々が来訪できるよう、日比谷公園と周辺のまちとのアクセシビリティ向上。回遊性確保

<p>(神田)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表通りのみならず、街区内の路地的な空間をいかした更新と居住機能の回復が進み、下町らしさを残しつつにぎわいのある街並みを形成 ・神田淡路町周辺では、公共施設の再編整備や土地の集約化などによって、道路環境の整備が進み、回遊性のある都市空間が創出された、居住・商業・業務機能が調和した安全で潤いのある市街地を形成 	<p>(神田)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地の集約化や街区再編により、業務、商業、居住機能が高度に集積するとともに、表通りのみならず、雰囲気のある路地空間が活用され、下町らしさも残る、活力とにぎわいの拠点を形成 ・日本橋川沿いでは、防災船着場を活用した船の利用による観光周遊の場が整備されるとともに、大手町からつながる延伸された仲通りにより、憩いとにぎわいのある空間を創出
<p>(秋葉原)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくばエクスプレス、JR線及び地下鉄の充実したターミナル機能や電気街などの既存集積をいかしたIT関連産業拠点の形成により、業務・商業・文化機能などの集積と産学の連携を促進するとともに、アニメなどの日本独自のコンテンツを世界にも発信する活力にあふれた新拠点を形成 ・神田川沿いでは、防災船着場を活用した船の利用による観光周遊の場が整備され、にぎわいを創出 	<p>(秋葉原)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくばエクスプレス、JR線及び地下鉄の充実したターミナル機能を有する交通結節性を生かし、ICT関連企業を中心とした業務機能が高度に集積し、業務・商業、文化機能などの集積と産学の連携を促進するとともに、アニメなどの日本独自のコンテンツを世界にも発信する活力にあふれた中核的な拠点を形成 ・電器店やサブカルチャーなどの個性的な商業施設の集積や、神田川沿いの親水空間を生かし、独自の文化を世界に発信し、国内外から人々が集まる観光・交流の拠点を形成 ・神田川沿いでは、防災船着場を活用した船の利用による観光周遊の場が整備され、にぎわいを創出
<p>(御茶ノ水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR 御茶ノ水駅周辺では、駅舎のバリアフリーや交通広場の整備に併せて業務、商業などの集積が進んだ、湯島聖堂やニコライ堂など歴史的な資源や神田川と調和した景観が保全・創出された魅力的な交通結節点を形成 	<p>(御茶ノ水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業、業務、居住機能などの集積が進み、大学、病院や楽器店が数多く立地する特性を生かすとともに、エリアマネジメントの取組等により、交流が生まれ、活力とにぎわいの拠点を形成 ・JR 御茶ノ水駅周辺では、駅舎のバリアフリーや交通広場の整備に併せて業務、商業などの集積が進み、湯島聖堂やニコライ堂など歴史的な資源や神田川と調和した景観が保全・創出された魅力的な交通結節点を形成
<p>(九段・富士見・飯田橋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高経年マンションや業務ビルの建替え、公共施設の整備が進むことにより、住宅・商業・業務・教育・医療施設が立地した、緑豊か恋成熟した複合市街地を形成 ・JR 飯田橋駅周辺では、西口・東口の交通広場の整備や安全で快適な駅舎の再整備が進むことによる、業務・商業・サービス・居住機能が集積した、外濠などの歴史的資源や緑と調和した景観が形成された魅力的な交通結節点を形成 	<p>【飯田橋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通結節機能の強化、高経年マンションや業務ビルの建替え、公共施設の整備と合わせ、高度利用により、業務・商業、文化・交流、医療、教育など複合的で多様な機能が集積し、活力とにぎわいの拠点を形成 <p>(飯田橋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR 駅周辺では、業務、商業、宿泊、住宅、教育、医療施設などが集積し、西口・東口の交通広場の整備や駅舎の再整備などによる安全で快適な空間と、外濠など歴史的資源やみどり調和した景観を形成し、魅力的な拠点を創出
	<p>(神保町・九段下)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書店が数多く立地する特性を生かすとともに、交通結節機能の強化や公共施設の整備と合わせ、高度利用により、業務、商業、文化・交流、教育など複合的で多様な機能が集積し、活力とにぎわいの拠点を形成 ・九段下駅周辺では交通結節機能・歩行者ネットワークを強化。内濠や日本橋川等歴史的な水辺空間と調和した建築物更新と高度利用により、業務、商業、行政、文化・交流など多様な機能が集積し、活力とにぎわいの拠点を形成
<p>(四谷)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターミナル駅周辺に相応しい商業・業務機能を中心として、文化・交流、教育、居住などの諸機能が複合的に集積し、緑豊かで魅力的な外濠沿いの景観と調和した賑わいのある拠点を形成 <p>(番町・麴町・紀尾井町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高経年マンションや業務ビルの建替えの進行により、業務、商業、行政施設などの大規模な敷地内に豊かな緑が確保された、成熟した複合市街地を形成 ・外濠などの自然環境の保全と更なる緑の創出とともに、それらと調和した建物の更新と高度利用を図ることにより、宿泊、業務、商業、居住などの機能集積が進んだ、国際交流機能を備えた複合市街地を形成 	<p>(四谷・市ヶ谷)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺や幹線道路沿道の建築物の更新が進むとともに、交通結節機能の強化と合わせた高度利用により、業務・商業、文化・交流、医療、教育など複合的で多様な機能が集積した活力とにぎわいの拠点を形成 ・高経年マンションや業務ビルの建替えの進行により、業務、商業、行政施設などの大規模な敷地内に豊かな緑が確保された、成熟した複合市街地を形成 ・みどり豊かで魅力的な外濠沿いの景観や自然環境の保全、更なるみどりの創出とともに、それらと調和した建築物の更新と高度利用を図ることにより、宿泊、業務、商業、居住などの機能集積が進んだ、国際交流機能を備えた複合市街地を形成

